

令和7年度 当別町子ども発達支援センター訪問先施設からの評価の結果について

保育所等訪問支援の訪問先施設職員の皆様におかれましては、お忙しい中アンケートにご協力いただき心より感謝申し上げます。ありがとうございました。訪問先施設職員の皆様からの評価と貴重なご意見をご参考にさせていただき、次年度の保育所等訪問支援事業の充実に向けての方向性をお知らせいたします。

【評価対象事業】

- ・保育所等訪問支援事業

【調査期間】

- ・令和7年12月1日～令和6年12月19日

【調査対象者】

- ・当別町子ども発達支援センター保育所等訪問支援の訪問先施設の職員

【回答率】

- ・配布数：11名分 回収数：11名分 回収率：100%

*回答を分析し、次年度の改善に反映してまいります。

【評価】

- ・訪問先施設の職員の方々への評価項目であります「訪問支援員による支援の満足度」「訪問支援員の支援に対する知識や技術等」「支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されたか」等の5つの項目に回答していただきました。全ての項目におきまして、「はい」の回答をいただきました。

【課題】

- ・所属先でのお子様の様子等から、発達の過程を捉え、個々の課題や適切な支援等を検討し、支援につなげていくことが今後も課題と考えます。また、集団の中でのお子様の強みや、発達段階、特性に合わせた関わりや対応等を、わかりやすく具体的にお伝えし共有することができますよう、職員一人ひとりの資質向上及び意識の向上が今後も課題と考えます。

【今後に向けて】

- ・訪問支援の際には、集団の中での様々な場面のお子様の様子を丁寧にみます。場面毎の対応、お子様の特性を踏まえた支援、関わり等、訪問先施設の職員の方々と懇談等重ね、一緒に考えながら、お子様への理解につなげていきたいと考えます。
- ・職員間で支援について意見交換を行います。またセンター内での学習会、外部研修に可能な限り受講を希望します。個々でも学ぶ機会に触れながら自己研鑽に努め、支援員の資質向上を目指し、適切な支援の提供につなげます。

【ご意見、ご要望について】

- ・訪問先施設からの評価集計結果で、頂戴しましたご意見、ご意見を踏まえた対応等を記載しております。センター内では今後も支援内容の振り返りと反省を行い支援の検証、改善につなげていけるように努めます。